

**平成30年度（上期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 健康福祉 部 保健医療推進室 健康政策 課

901

1. 基本情報

施設名	阪神北広域こども急病センター		
施設の設置目的	休日及び夜間において、伊丹市、宝塚市、川西市及び猪名川町の小児の患者に対して応急の診療を行う。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： 支え合いの心でつくる安全・安心のまち 施策目標： 健康で安心して暮らせる地域保健・医療 主要施策： 安心できる地域の医療サービス		
指定管理者の名称	公益財団法人 阪神北広域救急医療財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市昆陽池2-10		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 30 年 4 月 1 日 ～ 平成 35 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	年間受診割合 (単位： %)	
	指標の意味	こども急病センター診療時間の同センター及び3市1町の市町域内の公立医療機関(小児科)の全受診者(一次医療)に占める同センターの受診割合	
	今年度の目標値	90	上期の実績値
		91	

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H26	H27	H28	H29	H30(上期)	H30(通期)
	受診者数(人)		-	27,797	26,954	25,573	25,648	9,809
電話相談件数(件)		-	14,745	15,214	14,727	14,817	6,157	

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

区分		平成28年度(2016)	平成29年度(2017)	平成30年度(2018)計画	平成30年度(2018)実績(上期)	
収入	使用料収入	0	0	0	0	
	事業収入	319,546	326,356	328,156	136,448	
	その他	27,792	28,074	23,983	7,452	
	指定管理委託料	79,734	83,446	125,597	76,712	
	①合計	427,072	437,876	477,736	220,612	
支出	維持管理	光熱水費	0	0	0	0
		清掃等委託料	0	0	0	0
		土地建物賃料	0	0	0	0
		修繕料	0	0	0	0
	運営	人件費	319,686	325,555	350,160	151,920
		事業等経費	0	0	0	0
		その他	107,386	112,321	127,576	49,629
		指定管理納付金	0	0	0	0
②合計	427,072	437,876	477,736	201,549		
純収支(①-②)		0	0	0	19,063	

施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※		H25	H26	H27	H28	H29	H30(上期)
市の収入		108,307	100,997	101,711	95,441	122,080	49,748
(内、使用料収入)		0	0	0	0	0	0
市の支出		126,849	121,246	160,780	111,014	144,342	82,226
(内、指定管理委託料)		126,840	107,043	106,754	100,548	115,708	76,712
実質経費(歳出-歳入)		18,542	20,249	59,069	15,573	22,262	32,478

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	毎日の日常清掃に加え、年4回ワックス掛け等の定期清掃を行っている。施設設備の保守点検は仕様書に基づき適切に行っているが、開設から10年が経過していることを踏まえ、今後の修繕計画等について市と協議する。備品台帳は毎年5月に市へ提出している。古着等を回収し、ウエスとして使用するなど環境にも配慮している。	B	館内の衛生面・安全面に常に配慮し、定期的に施設の点検・確認を行い、備品等も適切に管理している。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	A			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	A			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	A	職員研修はOJTを中心に、外部の研修にも適宜参加し、資質向上を図っている。防火管理者等の職員配置については法令を遵守し、適正に配置している。	A	通常の職員研修だけでなく、職員のスキルアップのための研修を実施している。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	A			
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B			
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	役員交代に伴い、緊急連絡簿を更新し、各部署に周知した。消防法に基づき8月に消防訓練を実施した。	B	消防訓練も適切に行われており、緊急時の連絡体制を整備し日頃から備えている。
		避難訓練を実施しているか。	B			
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	待合フロアやホームページで常に利用者の意見を投稿できるようにしている。苦情、トラブルには迅速に対応し、全職員で情報を共有した。	A	利用者からの意見に耳を傾け、より良い事業展開に繋げるよう努力している。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	事業は計画通り実施している。看護師ミニ講座やニューズレターなどを通じて、センターの適正利用を促すよう取り組んだ。インフルエンザの流行時にはスタッフを増配置し、診療が滞らないように努めた。	A	効率的に事業展開している。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A			
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	各種申請書類等は文書分類表に基づき適切に保管。個人情報の取扱いには十分配慮している。ホームページはスマートフォン対応にリニューアルした。	B	個人情報については、適切に管理されており、情報公開や広報活動も努力している。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	A	経費節減に努めるとともに、会計士による会計監査を受け、適切な経理処理を行っている。	A	会計士による監査を受け、適正に処理している。
経理処理は、適切に行っているか。		A				

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	夜間や休日の小児の急病時に、一次救急医療を提供することにより、子育て支援や安心できる地域の医療に寄与している。また、看護師ミニ講座など魅力ある事業実施も積極的に実施しており、高く評価する。
総合評価	A

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成30年9月12日～平成30年9月26日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	利用者からはおおむね満足度の高い回答ではあったが、電話相談の電話がつながりにくい状況や投薬の日数についての意見があった。	電話相談については毎年同様の指摘を受けているが、相談に当る看護師の配置が難しく、1回線のみで運用しているため話中になることが多くご迷惑をおかけしている。電話相談でよくある質問をQ&A形式でホームページに掲載しており、こちらのPRも行いながら、出来る限り迅速丁寧な対応を心がける。投薬日数については急病センターの特性上、原則一日分としており、受診時にきちんと説明を行い、理解を求める。
回答者数	605	(詳細は別添参照)

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対しておられた措置